



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL http://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,608	△4.4	30	△53.0	39	△49.2	20	△55.6
28年3月期第1四半期	1,683	2.9	65	334.2	76	144.4	46	△43.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △244百万円 ( —%) 28年3月期第1四半期 177百万円 ( 199.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.98	—
28年3月期第1四半期	6.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,522	8,782	76.7
28年3月期	10,923	9,085	76.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 8,075百万円 28年3月期 8,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,572	0.9	△3	—	5	△90.5	△15	—	△2.20
通期	7,080	3.1	7	—	24	—	4	—	0.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社 (社名)— 、除外 —社 (社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期1Q	7,340,465株	28年3月期	7,340,465株
29年3月期1Q	454,551株	28年3月期	454,351株
29年3月期1Q	6,886,047株	28年3月期1Q	6,887,505株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復傾向に弱さが見られ、個人消費も引き続き弱含みで、世界経済も下振れ懸念が強まるなど、国内外共に先行きの不透明な状況が続きました。

ファッションアパレル業界も衣料品消費の低調や、インバウンド消費の翳りもあって、日本向け衣料品の生産は国内外共に総じて慎重で、縫い糸需要も低調に推移しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、受注の減少や為替換算レートの円高への変動の影響等もあって、1,608百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

一方利益面は、昨年実施した国内の工業用縫い糸の価格改正等の改善要因もありましたが、売上高の減少や中国事業の減益もあって、営業利益は30百万円（前年同期比53.0%減）、経常利益は39百万円（前年同期比49.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### 日本

当期間における国内消費は、所得の伸び悩みや先行きの不透明感から消費者の節約志向が一段と強まりつつあることや、消費の下支えとなった訪日外国人による所謂インバウンド消費もやや翳りが見られるなど、全体として弱含みに推移しました。

これらの状況から、アパレルファッション業界においても衣料品生産は総じて慎重で、手づくりホビー関連分野も含めて縫い糸の需要は低調に推移しました。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間には、当社の平成28年4月から6月まで、国内子会社の平成28年2月から4月までの業績が連結されているため、各社ごとに時期的な相違があるものの、工業用縫い糸の価格改正や、不採算商品の見直しを始め、国内各社の収益改善の施策はそれぞれに効果が出始めております。これらの結果、前年同期には工業用縫い糸の価格改正前の駆け込み受注もあり、当セグメントの売上高は1,290百万円（前年同期比3.9%減）にとどまりましたが、セグメント利益は16百万円（前年同期は2百万円の損失）と改善いたしました。

#### アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間には、平成28年1月から3月までの業績が連結されております。

当期間は、日本における衣料品消費の低調により、日本向け衣料品の生産の抑制傾向が続いた上に、特に中国においては、引き続き縫製の東南アジア諸国への分散傾向に歯止めがかからず、ベトナムやタイの子会社においては、売上高も増加傾向を維持しましたが、中国の縫い糸市場は、さらなる需要の減少や競争の激化により厳しい状況が続きました。これらの結果、当セグメントの売上高は、為替換算レートの円高傾向への変動もあって318百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

また利益面につきましても、中国事業の大幅な減益に加え、為替換算レートの円高への変動の影響も加わってセグメント利益は7百万円（前年同期比82.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて401百万円減少し、10,522百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少143百万円、たな卸資産の減少61百万円、固定資産では、有形固定資産の減少122百万円、投資その他の資産の減少87百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて97百万円減少し、1,740百万円となりました。主な増減は、買掛金の減少41百万円、賞与引当金の減少35百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて303百万円減少し、8,782百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少65百万円、その他有価証券評価差額金の減少58百万円、為替換算調整勘定の減少135百万円、非支配株主持分の減少48百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期連結業績につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました「平成28年3月期 決算短信」における第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,289,855	2,145,944
受取手形及び売掛金	1,545,265	1,546,474
電子記録債権	69,997	105,951
たな卸資産	3,077,153	3,015,628
その他	164,981	155,105
貸倒引当金	△13,754	△12,010
流動資産合計	7,133,498	6,957,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,572,362	1,481,710
その他(純額)	782,302	750,680
有形固定資産合計	2,354,665	2,232,390
無形固定資産		
その他	275,519	260,943
無形固定資産合計	275,519	260,943
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,163,341	1,075,372
貸倒引当金	△3,312	△3,183
投資その他の資産合計	1,160,029	1,072,189
固定資産合計	3,790,213	3,565,523
資産合計	10,923,712	10,522,618
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	577,984	536,154
未払法人税等	22,003	5,644
賞与引当金	60,813	25,095
その他	328,719	361,281
流動負債合計	989,521	928,176
固定負債		
長期借入金	278,400	301,174
役員退職慰労引当金	198,538	189,320
退職給付に係る負債	123,473	103,896
資産除去債務	20,547	20,565
その他	227,252	197,403
固定負債合計	848,212	812,361
負債合計	1,837,733	1,740,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,104,787	6,039,216
自己株式	△108,193	△108,257
株主資本合計	7,677,933	7,612,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,372	147,772
為替換算調整勘定	567,470	432,349
退職給付に係る調整累計額	△121,057	△116,794
その他の包括利益累計額合計	652,786	463,327
非支配株主持分	755,259	706,455
純資産合計	9,085,978	8,782,080
負債純資産合計	10,923,712	10,522,618

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,683,147	1,608,389
売上原価	1,157,779	1,131,417
売上総利益	525,367	476,972
販売費及び一般管理費	459,523	446,030
営業利益	65,844	30,942
営業外収益		
受取利息	1,218	1,598
受取配当金	15,807	11,170
その他	9,290	9,710
営業外収益合計	26,316	22,479
営業外費用		
支払利息	2,962	3,336
為替差損	7,408	7,000
その他	4,865	3,993
営業外費用合計	15,235	14,330
経常利益	76,925	39,091
特別損失		
固定資産除却損	—	560
特別損失合計	—	560
税金等調整前四半期純利益	76,925	38,531
法人税、住民税及び事業税	4,966	3,923
法人税等調整額	6,469	8,303
法人税等合計	11,435	12,226
四半期純利益	65,489	26,305
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,341	5,800
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,148	20,505



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	65,489	26,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,248	△58,600
為替換算調整勘定	7,551	△215,991
退職給付に係る調整額	6,578	4,263
その他の包括利益合計	112,378	△270,328
四半期包括利益	177,868	△244,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,966	△168,953
非支配株主に係る四半期包括利益	30,902	△75,069

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,342,718	340,429	1,683,147	—	1,683,147
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86,624	166,253	252,878	△252,878	—
計	1,429,342	506,683	1,936,026	△252,878	1,683,147
セグメント利益又は損失(△)	△2,975	43,994	41,019	24,825	65,844

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額24,825千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,290,218	318,171	1,608,389	—	1,608,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,422	147,381	215,804	△215,804	—
計	1,358,641	465,552	1,824,193	△215,804	1,608,389
セグメント利益	16,955	7,830	24,785	6,156	30,942

(注) 1 セグメント利益の調整額6,156千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。